

かいつくから少年たんでいのレンと、よくじゅがどいたよ！

★つぎのお話を読んで、「かたかなで書くのに」「ひらがな」になっていることばを六つさがして、——線を引よう。引いたら、左の□にかたかなで書き直そう。

よこくじようには、

「はかせのおたからをいただくぞ！」

と、書かれていました。

レンがいそいではかせの家に行くと、はかせは考えこんでいました。

「わたしのおたから？ 何だろう？ ふらんすで買った絵のことかな？」

「あれは、そんなに高いものではありませんよ。」

わたしのしんじゅのねっくれすじゃないかしら？」

はかせのおくさんが言いました。

そのとき、げんかんでがたがたと音がしました。

すると、そふあでねていた子犬がわんわんほえながら走っていきました。

「そういうば、かさ立てにしている、あの大きなつぼは？」

レンが思い出して言いました。

「てれびで見た中国の古いつぼにそっくりだったような……」

レンたちがげんかんに行くと、かいとうKが

そのつぼをかかえてにげていくところでした。

「あれは、わたしがわかいころに作ったものだよ。」

大きくてじやまだから、かさ立てにしていたんだ。」

と、はかせがわらいながら言いました。


